

第2次四日市市保健医療推進プラン(概要)

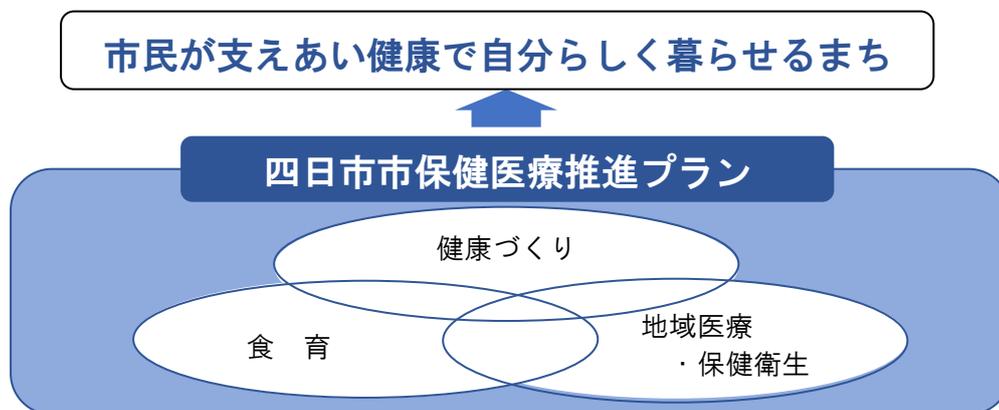
プラン策定の背景

本格的な人口減少社会の到来、高齢化のより一層の進行により、保健・医療分野においても健康寿命をいかに延伸するか、医療費の増大や医療・介護の人材不足にいかに対処するかといった課題が顕在化してきています。こうした中、平成25年3月に策定した「四日市市保健医療推進プラン」が計画期間を満了するのに伴い、全国各地で頻発する自然災害への対応などとともに、感染症への対応、がん対策や自殺予防対策の推進に加え、地域包括ケアシステムの構築など、保健医療の新たな課題に対応すべく計画内容を見直し、「第2次四日市市保健医療推進プラン」として策定するものです。

プランの位置づけと役割

このプランは、「健康増進法」に基づく健康増進計画、及び「食育基本法」に基づく食育推進計画に位置づけられるものであり、四日市市総合計画の基本目標の一つである『市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち』に向け、ライフステージを通じた健康づくりに加え、食育（食生活）、地域医療、健康危機管理等を含めた保健衛生事業を1つの方向性のもとで総合的に推進することによって、市民一人ひとりの「健康」の実現を目指す計画です。

更に、本計画より、自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱に基づき、生きるための包括的支援を推進する施策を追加しました。



このプランに位置づけた施策については、その内容を周知することによって、市民一人ひとりの主体的な健康づくりの取り組みを促すとともに、関係機関などとの協働のもとで実現を目指すものです。

プランの計画期間

このプランは、2018年度から2022年度までの5年間を計画期間とします。

なお、計画の期間内であっても、他の計画との整合性や保健医療を取り巻く状況の変化などにより、必要に応じて適宜見直すこととします。

第1次計画の成果と課題

第2次保健医療推進プランの策定にあたっては、第1次計画（平成25年度～29年度）の各施策の推進による成果と課題を以下の通り整理し、その検証のもとで施策の見直しを図ります。

（1）あらゆる世代が元気に暮らせる健康づくり

1) 子どもの健やかな成長

産前・産後サポート事業により、課題等の早期発見と、早期支援が可能になりました。また、保護者同士の交流、共有の場を提供し、子育ての孤立の解消と育児不安の軽減にも努めることができました。今後は、産前・産後を通じた相談・指導體制の一層の拡充を図るとともに、保健、医療、福祉、教育、地域等の連携による見守り体制の充実が必要です。また、子どもの歯の健康づくりや望ましい食習慣の定着を図るため、保護者の意識啓発に努める必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
子育てに自信が持てない保護者の割合(4カ月児)	12.0%	23.5%	26.3%	24.8%	26.4%	8.7%

※平成28年度に、4か月児健康検査における国の調査問診項目（健やか親子21・第2次）に大幅な改正があり、「育児に自信の持てないことがありますか」という項目が、平成28年度については、「育児する中で迷ったり、悩んだりすることはありますか」に変更となったため、数値が大きく変動した。

2) よりよい生活習慣の定着

望ましい食習慣や運動習慣の普及とともに、がん予防の知識の普及とがん検診の受診勧奨の強化に努めました。また、歯と口腔の健康について意識啓発を図りました。生涯を健康で過ごすためには、生活習慣病の発症予防や身体機能維持のため、早い段階から健康づくりに取り組むことが大切であり、若い世代の意識啓発が必要となっています。また、身近な地域や職場で自主的な健康づくりの輪が広がっていくような仕掛けづくりを進めることも必要です。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	22.4%	28.6%	28.7%	29.1%	29.3%	30.4%

3) こころの健康づくり

こころの健康づくりとともに、こころの病や精神障害の知識の普及・啓発に努めました。また、相談の環境づくりとともに、教育、医療、保健、福祉の連携によりこころの病や精神障害の早期発見・早期支援に努めました。今後も、こころの病や精神障害に対する誤解や偏見の解消に努めるとともに、相談・支援体制の更なる拡充が必要です。また、自殺対策については、身近な支援者の育成や相談窓口の普及啓発等に努めました。今後は、誰も自殺に追い込まれることのない社会を目指し、関係機関が連携して、包括的な支援ができるよう取り組む必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
こころの相談件数(年間延べ件数)	1,770件	1,893件	2,072件	1,984件	2,243件	2,249件

※平成29年度目標値については、平成23年度の実績値1,610件からの増加を見込んで設定したものの、相談ニーズの増加やその後の啓発等により、平成24年度にはすでに目標値を上回る実績値となっている。

4) 心身をはぐくむ食生活の推進

家庭における地産物の利用促進とともに、子どもたちの食や農業への関心を高め、感謝の気持ちをはぐくみました。また、学校給食に行事食や郷土料理を積極的に取り入れるとともに、健康ボランティア等と連携し、伝統的な食文化の継承に努めてきました。今後も、これまでの取り組みを継続しつつ、国が「若い世代を中心とした食育の推進」を重点課題の1つに掲げていることから、引き続き若い世代に向けた食育の推進に力を入れていく必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
学校給食における地産地消の割合 (食材数ベース)	50.0%	37.8%	42.2%	44.4%	42.2%	51.1%

(2) 安心に暮らせる地域医療の体制づくり

1) 在宅医療の推進

市民が希望する場所で療養や看取りができるよう、訪問看護ステーションへの支援とともに、ICTを活用した情報共有システムなど、関係機関の協力のもと体制整備に努めました。また、市民企画の講演会や市民向けの在宅医療ガイドブックなどを通して、在宅医療の普及・啓発に努めました。今後は、これまでの取り組みを継続しつつ、在宅医療・介護関係者の更なる連携強化のための支援を充実し、在宅医療体制の一層の拡充に努める必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
在宅で最期を迎えられた人の割合	18.5%	15.7%	18.5%	18.1%	17.8%	18.1%

2) 医療の安全・救急医療・災害時医療

病院や診療所に対する立入検査を実施し、指導助言を行いました。また、一次（初期）救急医療体制の充実強化とともに、二次輪番制病院群への補助など、二次救急医療体制の整備に向けた取り組みを進めました。災害時の医療体制については、四日市医師会、歯科医師会、薬剤師会と災害協定を結び、平常時より顔の見える関係を築くことで、連携できる体制づくりを進めました。今後も関係機関との連携強化を図りつつ、医療の安全のための体制整備を進める必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
病院における医療安全分野の管理方針・体制にかかる適合率	100.0%	97.0%	97.1%	98.5%	99.0%	99.0%

(3) 安全に過ごせる生活環境づくり

1) 感染症対策の推進

出前講座や衛生教育等を通じて、感染症の知識の普及・啓発に努めました。今後も感染症予防のための啓発活動を継続するとともに、流行予測のできる感染症について発生動向情報の提供による注意喚起に努める必要があります。また、感染症の発生時には、医療機関と連携し、確定診断を確実に実施するとともに、治療完遂に向けた患者支援と感染症のまん延防止に努める必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
感染症に関する健康教育参加者数 (年間延べ件数)	1,200件	1,226件	2,262件	2,369件	2,630件	1,644件

※平成29年度目標値については、平成23年度の実績値1,092人からの増加を見込んで設定したものです。予防意識の高まりやその後の取り組み等により、平成24年度にはすでに目標値を上回る実績値となっています。

2) 食の安全対策の推進

講習会や説明会、広報等を通じて食品等事業者や市民への啓発活動を進めました。また、監視指導や収去検査を実施するとともに、食中毒発生時には原因究明のため、迅速かつ正確な調査及び検査を実施し、被害の拡大防止に努めました。

食肉については、「と畜場法」に基づきと畜検査を実施し、安全な食肉の提供に努めました。

今後も食の安全・安心の確保を図るため、食品等事業者や市民に対する情報提供体制を整備し、監視指導の徹底や収去検査による違反・不良食品の排除に努めることが必要です。また、より安全で正確な検査を行うための施設等について整備を進める必要があります。更に、HACCP手法による衛生管理の導入支援及び導入後の監視検証等の取り組みも必要です。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
食品検査における適合率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3) 薬物対策の推進

薬物乱用防止に向けた意識啓発を進めるとともに、医薬品や毒物劇物の取扱いに関し、事業者への監視指導に努めており、今後も関係機関との連携のもと、取り組みを強化する必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
関係団体や市民と協働する薬物乱用防止講習会及び教室等の開催数	30件	19件	26件	29件	35件	42件

4) 生活衛生対策・動物愛護の推進

生活衛生対策については、生活衛生施設に対して監視指導や感染症予防の啓発を行い、衛生管理の向上に努めました。今後も施設への監視指導の徹底に努めるとともに、県や関係機関と連携した監視指導も行っていく必要があります。

動物愛護の取り組みについては、犬の登録や狂犬病予防接種とともに、市民や動物取扱業者に対し、適正飼養や虐待防止について指導・助言・啓発を行いました。今後も啓発活動とともに、犬・猫の殺処分数減少に向けた取り組みを進める必要があります。

成果指標名	目標値	実績値				
	平成29年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民や関係団体との協働による動物愛護啓発活動の開催回数	5回	1回	2回	4回	4回	4回

プランの基本理念

「健康づくり」に関しては、市民一人ひとりが自らの「食生活」を含めたところとからだの健康に高い意識を持つことが重要です。身近な地域で活動が展開できるよう、また気軽に相談できるようにすることで、市民が生涯を通じて心身ともに健康で暮らすことのできるまちを目指します。

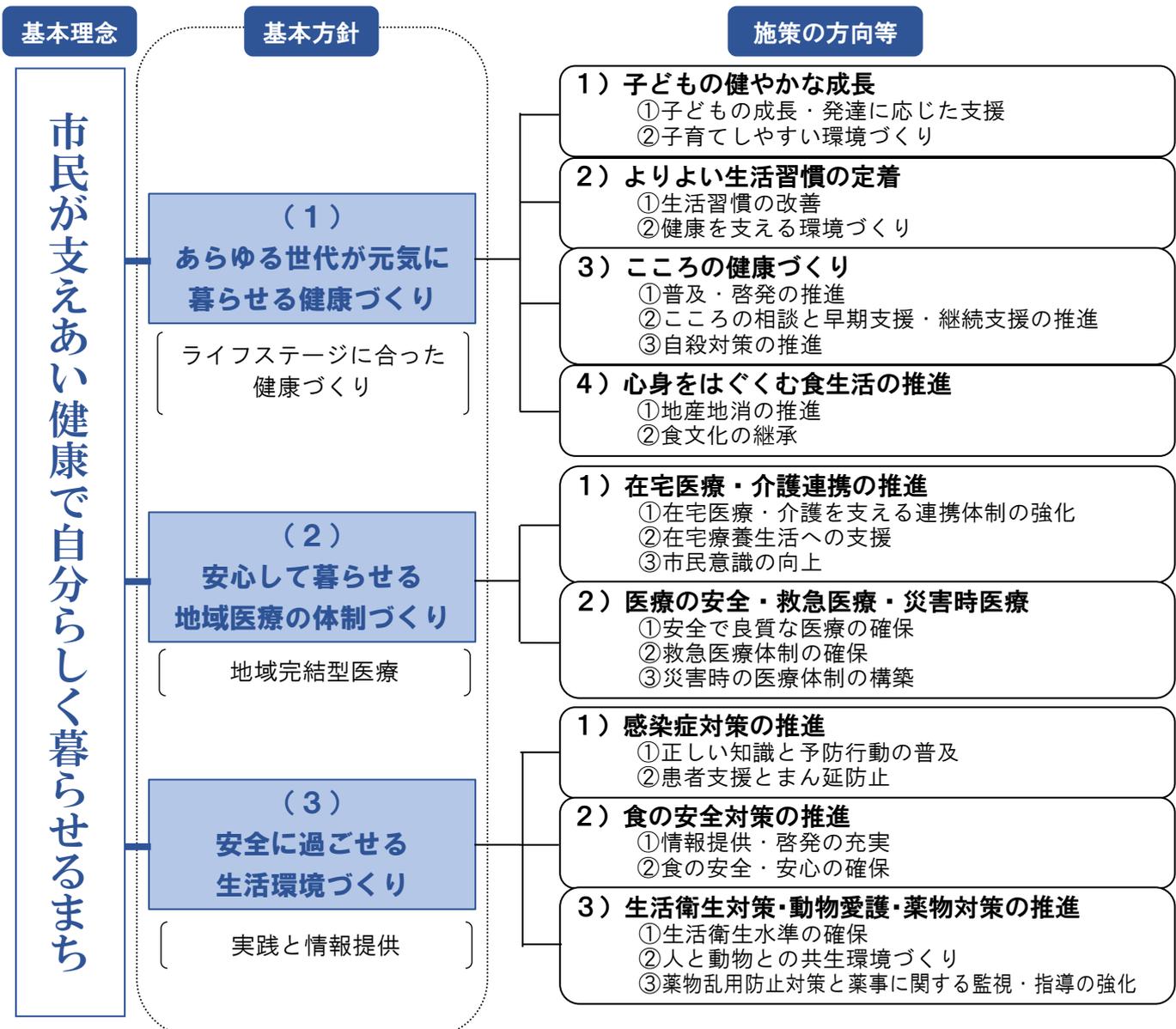
「地域医療」に関しては、介護との連携のもとで在宅での療養をサポートするべく地域包括ケアシステムの深化を図り、市民が安心できる医療環境を目指します。

「保健衛生」に関しては、感染症、生活や食を取り巻く衛生環境の維持向上を図り、市民の暮らしの安全・安心の確保を目指します。

こうしたことから、このプランでは、四日市市総合計画における基本目標の1つである『**市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち**』を基本理念とし、健康づくりに関する総合的な取り組みを進めます。

施策の体系（基本方針と施策の方向）

「市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち」の実現を目指し、3つの基本方針を掲げ、次の体系に沿って取り組みを進めます。



施策の方向と主な取り組み

(1) あらゆる世代が元気に暮らせる健康づくり

1) 子どもの健やかな成長 指標 この地域で子育てをしたいと思う親の割合 2016 93.6% ▶2022 95%以上	①子どもの成長・発達に応じた支援	1111	健康診査の充実と相談支援体制の確立	
		1112	予防接種情報の普及・啓発	
		1113	妊娠期、乳幼児期からの歯の健康啓発	
		1114	園・学校における歯と口の保健指導の実施	
		1115	妊娠期からの正しい食習慣の普及	
		1116	保護者へ朝食の摂取や偏りなく食べることなどの啓発	
	②子育てしやすい環境づくり	1121	妊娠期から途切れのない支援体制の充実	
		1122	正確な育児情報の提供	
		1123	関係機関との連携による虐待の早期発見・早期対応	
		1124	食に関する体制の充実	
		1211	望ましい食習慣の実践支援	
		1212	運動習慣の定着支援	
2) よりよい生活習慣の定着 指標 国民健康保険加入者の特定健診の受診率 2016 48.0% ▶2022 58.0%	①生活習慣の改善	1213	口腔機能の向上	
		1214	がんの早期発見	
		1215	特定健診、特定保健指導の受診勧奨	
		1221	地域での健康づくり	
		1222	職場での健康づくり	
	3) こころの健康づくり 指標 こころの相談件数 2016 2,249件 ▶2022 2,400件 指標 自殺死亡率(10万人あたりの自殺者数) 2016 18.2 ▶2022 13.0	①普及・啓発の推進	1311	正しい知識とこころの健康づくりの普及・啓発
			1312	関係機関・団体との連携
		②こころの相談と早期支援・継続支援の推進	1321	相談体制の充実
			1322	思春期における早期発見・早期支援
			1323	継続した相談援助の推進
③自殺対策の推進		1331	関係機関とのネットワークの強化	
		1332	自殺対策を支える人材育成の強化	
		1333	普及啓発の推進	
		1334	生きることの促進要因への支援	
		1335	児童生徒のSOSの出し方に関する教育	
4) 心身をはぐくむ食生活の推進 指標 学校給食における地産地消(品目数) 2016 25品目 ▶2022 26品目以上	①地産地消の推進	1411	地産物の認知度向上と利用の促進	
		1412	地元食材の活用拡大	
	②食文化の継承	1421	行事食や郷土料理の継承支援	
		1422	伝統を活かした食事の実践	

(2) 安心して暮らせる地域医療の体制づくり

1) 在宅医療・介護連携の推進 指標 在宅（自宅）で最期を迎えた人の割合 2016 18.1% ▶2022 20.5%	①在宅医療・介護を支える連携体制の強化	2111	地域の医療・介護の資源の把握
		2112	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
		2113	在宅医療・介護関係者の情報共有の支援
		2114	医療・介護関係者の研修
		2115	在宅医療・介護連携に関する相談支援
		2116	関係市町の連携
2) 医療の安全・救急医療・災害時医療 指標 病院における医療安全分野の管理方針・体制に係る適合率 2016 99% ▶2022 100%	②在宅療養生活への支援	2121	切れ目のない在宅医療と介護体制の構築推進
	③市民意識の向上	2131	地域住民への普及啓発
		①安全で良質な医療の確保	2211
	②救急医療体制の確保	2221	市民の理解と協力
		2222	一次（初期）救急医療体制の維持・継続
		2223	二次救急医療体制の維持・継続
		2224	救急医療体制の維持・継続
	③災害時の医療体制の構築	2231	関係機関との連携
		2232	国・県との連携

(3) 安全に過ごせる生活環境づくり

1) 感染症対策の推進 指標 感染症に関する健康講座等の実施回数 2016 41回 ▶2022 55回	①正しい知識と予防行動の普及	3111	正しい知識の啓発	
		3112	感染症の発生情報の収集・分析と注意喚起	
		②患者支援とまん延防止	3121	患者支援の推進
			3122	感染症のまん延防止
			3123	早期発見・早期治療の推進
3124	新型インフルエンザ対策の推進			
2) 食の安全対策の推進 指標 食品検査における不適合件数 2016 11件 ▶2022 0件	①情報提供・啓発の充実	3211	食品の安全に関する情報の周知・啓発	
	②食の安全・安心の確保	3221	食品の安全確保に向けた監視指導の強化	
		3222	安全な食品流通の確保	
3223	食品の検査体制の強化			
3) 生活衛生対策・動物愛護・薬物対策の推進 指標 市民や関係団体との協働による動物愛護啓発活動の開催数 2016 4回 ▶2022 10回	①生活衛生水準の確保	3311	生活衛生施設への監視・指導と自主衛生管理の推進	
	②人と動物との共生環境づくり	3321	適正飼養等の更なる広報、普及啓発の推進	
	③薬物乱用防止対策と薬事に関する監視・指導の強化	3331	薬物乱用防止活動の推進	
		3332	薬事に関する監視及び指導体制の強化	

プランの推進

市として、市民一人ひとりへの情報提供等により、一人ひとりの健康意識の高揚に努めるとともに、身近な地域で主体的に取り組める仕組みや場の提供に努めます。

また、関係機関・団体等の連携した取り組みが円滑に進むよう、情報提供体制の強化とともに連携調整や協議・検討できる体制の充実・強化を図ります。

プランの進行管理

このプランに基づく施策を総合的・計画的に推進するため、毎年度、地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議する四日市市地域保健運営協議会において指標等をもとに進捗状況を報告し、意見を伺い、計画的な進行管理と施策の改善を図っていきます。

【PDCAサイクルによる進捗管理のイメージ】



第2次四日市市保健医療推進プラン(概要)

平成30(2018)年3月

四日市市 健康福祉部 健康福祉課

〒510 - 8601 四日市市誠訪町1番5号

電話:059 - 354 - 8281 FAX:059 - 359 - 0288 Eメール:kenkoufukushi@city.yokkaichi.mie.jp